



品質賞の MVP をもらったこと



国 籍 ベトナム
職 種 電子機器組立て
実習実施者 栗田静電株式会社
監理団体 アジア共栄事業協同組合

チャン ティ ゴック ティエン
TRAN THI NGOC TIEN

私はベトナムで情報管理の大学を卒業してから、テレホンサービスセンターの仕事をしていました。しかし、ビジネスに興味があり、将来エステティックサロンを経営したいと思っていました。そのためには、お金を貯めたり、経験を学んだりすることが大切だと思って、日本へ行くことを決意し、日本語を勉強し始めました。

ベトナムの学校に入学し、半年間日本語や日本の文化を学んで、日本の企業の面接に合格しました。そして技能実習生として日本へ来ました。来日した時に、初めて家族や友達と離れる寂しさを感じましたが、頑張ろうと決意しました。日本語を勉強したといっても、初級レベルだったので、初めて仕事をしたときは言葉が理解できず、皆と話すことが出来ませんでした。私の仕事は電子機器組立て作業です。皆で一つの製品を作り上げる仕事で、自分の決められた作業を行い、隣の人に送る仕事です。最初の頃は、慣れていなかったのが、次の人の作業に合わせる事が出来ませんでした。大変で叱られるかと思ったら、先輩から優しい態度で「ティエンちゃん大丈夫頑張って！」と声をかけてもらって、とても嬉しかったです。仕事に

早く慣れるためには、仲間や上司と日本語で会話をする必要だと思いました。それで日本語を必死に勉強しました。毎日ノートに1ページ日本語で日記を書いたり、インターネットを使って自分で勉強したりしました。そして、仕事をしながらN2を取得しました。日本語が上手になってくるにつれ、ベテランの人と会話をして、仕事が綺麗で早く出来る方法を学び、仕事に慣れることが出来ました。さらにいろいろなポジションで作業をすることによって、技能を磨きました。特に印象に残っていることは、2018年8月に製品の検査員に私が選ばれたことです。製品検査の作業はとても重要な仕事で、私にとって本当にチャレンジでした。仲間や上司の信頼にこたえるために、熱心に努力しました。その結果、会社の新年会で、品質賞のMVPを頂くことが出来ました。凄く嬉しかったです。この賞は、自分の力だけではなく、仲間の支えがあったからこそ、取れた賞だと思っています。私の会社では単独行動よりも集団で行働することに重きを置いています。仕事に慣れていない人がいれば、助け合って協力して製品を完成させます。これは人を思いやる気持ちです。思いやる気持ちを学んで、私も成長出来たことはとても良い経験だったと思います。

日本で働く経験はとても貴重な時間でした。私は子供の頃から大学を卒業するまで、両親の下で育てられましたが、家族と離れ徐々に成長し、自立するようになったことは自信につながりました。ベトナムへ帰った時には日本の会社で就職して、働きながら経営の勉強をするつもりです。長い間お世話になり皆さまへの感謝の気持ちがたくさんあります。本当にありがとうございました！